

令和4年度 事業報告 岩内厚生園拠点区分

児童養護施設 岩内厚生園

1 計画の実施状況

新型コロナウイルスによる影響

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症により感染対策をしながら学校へ登校し、幼児は施設内で感染対策をしながら生活を続けています。これまでとは違い自由に外出することは制限をし、保護者との面会や外出をすることも「ふつうに」、「あたりまえに」が出来ないことが多くなりました。町内の行事等の中止や自粛等で子供たちの楽しみが意気消沈であることに、少しでも子供達に施設内で楽しみできる行事等に工夫をしてきました。

入所児童及び職員の新型コロナ感染症（集団感染）

令和4年度4月から5月の間に入所児童27名職員2名計29名の集団感染が発生、令和4年11月に入所児童8名職員1名計9名集団感染、令和4年12月に入所児童17名職員10名計27名の集団感染が発生、園内では入所児童及び職員のPCR検査実施、及び抗原検査キットで入所児及び職員の健康観察と感染防止対策を強く実施しました。集団感染中は小学生・中学生・高校生は休学となりました。

2 入所児童数と職員数

入所児童定員数 49名（6名小規模）合計55名

職員数 27名 直接処遇職員18名（内非常勤職員5名）

間接処遇職員 9名内非常勤職員1名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年少児	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
小学生	15	15	15	15	16	16	16	17	17	17	17	17
中学生	11	11	11	11	11	12	12	12	12	11	11	11
高校生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
22歳迄	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	45	45	46	46	47	48	48	49	49	48	48	48
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 主な事業

(1) 会議及び行事

<月会議>

定例職員会議・役職会議・指導保育士会議・ケース会議

<その他会議>

西小学校と施設連絡協議会・岩内町学校運営協議会・町内要保護児童地域対策

協議会・各市町村保護地域児童対策協議会・各児童相談所と施設連絡協議会・
原子力防災連絡会・共和町子ども子育て会議

(2) 月別行事実績

- 4月 入進学祝賀会（会食） クリーンナップ運動参加（岩内警察署）
- 5月 新型コロナ集団感染発生により行事等中止
- 6月 小学校運動会
- 7月 岩内神社祭典外出
- 8月 原子力環境センターバックヤード見学
- 9月 キャンプ・新型コロナ感染発生により行事等中止
- 10月 屋外バーベキュー
- 11月 新型コロナ集団感染発生により行事等中止
- 12月 新型コロナ集団感染発生により行事等中止（クリスマス会・年夜の会）
- 1月 お正月・元朝参り
- 2月 児童の町内買い物
- 3月 卒業・卒園者の祝会

(3) 研修会等

- 新型コロナウイルス感染症対策研修会 1名
- 岩内町福祉・介護医療教育関係機関原子力防災連絡会 1名
- 基幹的職員研修会（オンライン講座） 1名
- （新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は不参加）

4 子育て短期事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
岩内町	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
共和町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小樽市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2

5 私的契約事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用人数	4	1	3	2	5	1	1	1	1	2	3	3

6 受け入れ実習生状況

- 名寄大学 5名 札幌国際大学 3名 札幌国際大学短期大学部 4名
- 帯広大谷短期大学 1名 札幌大谷短期大学 15名 藤女子大学 3名
- 札幌こども専門学校 21名 札幌医療秘書福祉専門学校 2名
- 経専北海道保育専門学校 4名 札幌スポーツ&メディカル 2名
- 合計 60名

7 施設整備事業等

デスクトップパソコン3台、新車トヨタ ルーミー1台 炊飯器 2台
ノートパソコン3台

8 まとめと今後の課題

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対応に迫られ、当初計画していた事業・行事も中止となりました。集団感染（クラスター）発生の対応に日々の入所児童及び職員の健康観察を実施しました、コロナと共生する社会に子どもも大人にとっても非常にストレスであり我々はマスク着用・互いに距離をとる、というこれまでにない生活スタイルのなかで、従来通りに楽しみたいという欲求は、考慮しなくてはならない事でした。子供達には今後の社会情勢に合った社会環境に適用できるように自立に向けてできることを一つずつ丁寧に積み上げて行きます。

地域小規模児童養護施設友和

1 計画の実施状況

新型コロナウイルスによる影響

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症により感染対策をしながら自立に向けた支援を行いましたが、自立に不安を抱かえて不安定になった子どもいます、コロナの影響で月に一度の外出もできなくなりました。出かける行事等も控えたりし児童の唯一の楽しみである食事に創意工夫を凝らし一緒に調理する時間を有効活用し料理をみんなで作って食べることを共有できるよう努めました。

2 入所児童数と職員数

入所児童定員数 6名

職員数 4名 直接処遇職員4名（内非常勤職員1名）

小樽シルバー人材派遣会社 宿直専門員 2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

3 主な事業

(1) 会議及び行事

<月会議>

定例職員会議・役職会議・ケース会議は岩内厚生園で行う。

<その他会議>

各児童相談所と施設連絡協議会・小樽高等支援学校と連絡調整会議・余市養護高等学校と連絡調整会議

(2) 月別行事実績

- 4月 屋内バーベキュー
- 5月 行事等中止
- 6月 行事等中止
- 7月 高校生夏休み行事等新型コロナ影響により中止
- 8月 行事等中止
- 9月 行事等中止
- 10月 入所児童健康診断
- 11月 行事等中止
- 12月 小中高校冬休み・クリスマス会 年夜の会
- 1月 お正月・小中高校始業式

2月 行事等中止

3月 卒業・卒園者の祝会

4 まとめと今後の課題

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対応に迫われ、当初計画していた事業・行事も中止となりました。感染対策を講じながら実施した行事もありました、コロナと共生する社会に子どもにとって大人にとっても非常にストレスであり我々はマスク着用・互いに距離をとる、というこれまでにない生活スタイルのなかで、従来通りに楽しみたいという欲求は、考慮しなくてはならない最大のハードルなのではないかと考えられます。子供達には今後の社会情勢に合った社会環境に適用できるように自立に向けてできることを一つずつ丁寧に積み上げて行きます。